令和6年度（2024年度）第3回東海市地域公共交通会議会議録

- 会議の名称 令和6年度（2024年度）第3回東海市地域公共交通会議
- 開催日時 令和6年（2024年）12月23日（月）
午後1時30分から午後3時05分まで
- 開催場所 東海市役所302会議室（3階）
- 出席委員 稲吉豊治（会長）、齋藤誠（副会長）、嶋田喜昭（議長）、
金森隆浩、高井勇輔、天野朝之、小林裕之、藤田和弘、小島浩資、
湯浅一成、久野兼幸、片桐真砂子、野崎舞衣子、富田厚子、
安藤剛輔、小笠原功、中島淳、宮川高彰、桑山忍、石屋義道
- 欠席委員 安田讓、秋山和子、伴野誠司、今井聡至
- 事務局 都市建設部長、都市計画課長、同主幹、同統括主任、同主任、
同主事

○傍聴者の数 3人

○議題及び審議の概要

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ

（会長）

東海市役所職員の服装等について情報提供させていただく。今までは5月から10月までの夏の期間のみノーネクタイであったが、現在試行期間として、会長を始め事務局の職員について、ノーネクタイで実施しており、愛知県庁の職員も同様に11月から実施している。今後、他市町村でも公務員の職員が会議等の場で、ノーネクタイの職員を見かける機会が増えると思う。

本日の会議では、10月1日から運行を開始している、らんらんバスの新ダイヤ・ルート及びチョイソコとうかいの実証実験について、11月末までの利用状況等について報告する。

その他報告事項や協議事項もあるため、委員の皆様におかれましては、それぞれの立場で公共交通の利用促進に向けたご意見をいただきたい。

3. 報告事項

- (1) 令和6年度（2024年度）第2回会議録の確認について
事務局による資料1の説明

(2) 循環バスの利用状況等について

事務局による資料2の説明

(議長) 知多バスの上野台線の利用者数が10月は前年同月と比較し、増加しているのに対し、11月は前年同月と比較し、変わらないのはなぜか。

(委員) 循環バスのダイヤ・ルート再編直後の10月のみ一時的に増加したのではないかと考える。上野台線の利用者数は、コロナ禍前の水準に戻っており、他の路線系統と比べても利用者数が多い路線ではあるが、今後は利用者数が増え続けることはないと考えている。

(会長) 知多バスの路線バスの利用者は、定期利用者と1回限りの方では、どちらが多い傾向にあるか。

(委員) 圧倒的に定期利用者が多い。

(副会長) 循環バス利用者数の目標値は設定しているか。また利用者を増やすための施策は考えているか。

(事務局) 令和6年3月に策定した東海市地域公共交通計画で、5年後の目標値を設定しており、37万8,000人を目標としている。公共交通を維持していくために、できる限り多くの方に利用していただくことが重要であり、利用しやすい環境を作っていく施策として、交通系ICや二次元バーコード決済を導入した。今後はデジタル化が進んでいく中で、交通系ICを活用した手法を検討し、利用者を増やしていく。また、次期ダイヤ改正に向けて、ダイヤ・ルート再編後の利用者の意見を参考に、利用ニーズの高い時間帯に便数を増やす等の工夫を行い、利用者数を増やしていく。

(委員) 高校生等の学生に対する利用促進の取組を今後考えていくのか。

(事務局) 高校生は電車だけではなく、バスで通学する高校生も多くいるため、今後も引き続き利用促進を行う必要があると感じている。その中で、10月に実施したダイヤ・ルート再編では、東海南高校前に新たにバス停の新設を行っており、利用人数等を見ながら、今後早朝のダイヤや帰りのダイヤの検討を行い、学生にも利用してもらえるダイヤ・ルートを検討する。また、市内の学生が最寄りの駅に行く際や市外の高校に行く際の1つの交通手段になるように、使いやすいダイヤ・ルートを検討して、利用促進に努めていく。

(委員) 加木屋中ノ池駅の利用状況はどのくらいか。

(委員) 1日当たりの利用者数は、平日は800人から900人くらいである。

土曜日は半分くらいで日曜日は200人から300人で平日は病院の利用者が多く、休日に比べて利用者数が多い。

南改札口が開設すると利用者数が増えるのではないかと考えている。

(3) 東海市地域公共交通計画の推進について

事務局による資料3の説明

(議長) 基本方針3にあるバスの乗り方教室は、将来バスを利用する可能性がある小学生に対して、非常に良い事業のため、来年度以降回数を増やす検討はあるか。

(事務局) 1回目の会議でも意見をいただき、事務局としても増やしたいと考えているため、来年度から回数が増やせるように財政部局と現在調整中である。

(議長) バスロケーションシステム「バス予報」のページを探す方法は何があるか。

(事務局) バスロケーションシステムはアプリケーションではなく、WEBサイトであるため、ガイドブックやバス停の時刻表に記載の二次元バーコードを読み取るか、市の公式LINEと友達になることで、バスのメニューからバスロケーションシステムのページに移動が可能である。

(議長) 二次元バーコードを読み取らなくても、市の公式LINEからバスロケーションシステムのページに移動できるのは、利用者としても便利であるため、情報を広めてほしい。

(4) 令和6年度補助系統別事業評価票について（横須賀(A)線）（上野台線）
（あいあいバス北部循環コース）

事務局による資料4の説明

(委員) 知多バスの横須賀(A)線の利用者数が令和5年度から6年度に比べて大きく増加しているのはなぜか。

(事務局) 増加理由の1つとして、年度の考えに違いがあることが考えられる。資料の年度は、バス年度という10月から9月までを1年度としており、令和5年度が令和4年10月から令和5年9月まで、令和6年度が令和5年10月から令和6年9月までであるため、バス年度の令和

5年度はコロナ禍がほとんどであり、年度の後半に2類から5類に移行した年度であるのに対し、令和6年度は2類から5類に移行した後の年度であり、利用者の行動が活発化したため、利用者数が増加したものとする。

(5) デマンド交通「チョイソコとうかい」の実証実験の状況について

事務局による資料5の説明

(委員) 半田市のm o b iは年齢制限がないと聞いている。実証実験中ではあるが、登録人数や利用者数が今後増え続けなければ、年齢層を広げる等の条件変更を検討するのはどうか。

(事務局) 会員登録数が200人弱であり、目標の会員登録数500人に達していない現状であるため、会員登録数を増やすことを優先して、地元説明会を引き続き実施する。また、会員登録数に対して、実利用人数が少ない状況であるため、会員登録者向けにイベントの開催等のお知らせチラシを配布し、利用促進を図る。

会員登録者の条件変更については、利用者を増加させるためには、年齢層の緩和を行う必要があるとは考えるものの、元々平日のみの運行であるため、学生の利用が少ないと想定していたことや高齢者等の利用が不便な方を中心に利用してもらいたいと考え、その対象者がどのくらい利用するか実証実験で判断し、今後、条件緩和を行うべきかどうか考えることとしている。

今後、地域公共交通会議の中で、委員の皆様と議論を重ね、実証実験を延長するか、本格運行に移行するか等の議論を進めていく。

(議長) 30代以下の利用者はいないが、会員登録者はいるか。

(事務局) 登録者はいる。

(委員) 運行事業者の意見として、現在乗務員9名がタクシーの勤務の中で、チョイソコとうかいを担当しており、その内1日2名が入れ替わりで担当して運行をしているが、特に問題なく運行は出来ている。実人数が31人という中で、繰り返し利用をされている方は、現場でも見受けられている。また、乗車の際に段差があるが、手すりを設置しているため、問題なく乗車が出来ている。支払方法については、現金、交通系ICカード、二次元バーコード決済等を用意しているが、現金以

外の利用は16人で交通系ICカードのみである。

また、タクシー事業者としては、運行日、時間帯、町名のみで単純に集計した結果ではあるが、前年度比で157件減少しているものの、他の地域での需要に対応しているため、経営的には支障は出ていない。

(委員) 時間帯別の利用状況はどうか。また利用者からの声はどうか。

(事務局) 午前中の利用が多い傾向にあり、特に8時～10時くらいの利用が多い。曜日別では、火曜日と金曜日が多い傾向にあり、月曜日と木曜日は利用が少ない傾向にある。利用者からは、使いやすいという好評の声もいただいております、リピーターが多いことに繋がっているのではないかと考える。

(議長) タクシーに影響はないか。

(委員) デマンドの区域に絞った正確な数字までは不明であるが、データ等を集計すると、若干影響があると感じるため、今後もデマンドに対する影響がないか気にしていきたい。

(議長) 路線バス等に影響はないか

(委員) 路線バスの運行ルートに大きく重ねている箇所はなく、現状は利用者数が減少していないため、影響はないと考える。

(委員) どのくらい前から予約する方が多いか。

(事務局) 12月までの集計では、2日以上前から予約している方が約40%、前日が約15%、当日が約45%である。

4. 協議事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業に係る事業評価について

事務局による資料6の説明

(議長) 提出期限はいつごろか

(事務局) 1月中旬である。中部運輸支局と調整した上で、提出する予定である。

(議長) 提出様式の文字が小さいため、次年度以降大きくしてほしい。

(事務局) 次年度以降は、大きさ等を工夫した会議資料とする。

<議長による承認採決>

(一同) 承認

5 閉会のことば